

平成25年8月29日

**広島県の委託を受けて  
児童虐待分析調査研究事業を実施**

**[研究機能、地域中核機能]**

昨年10月に安芸郡府中町で発生した児童虐待死亡事案の再発防止に関わって、広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設では広島県こども家庭課の委託を受け、広島県内で発生した過去の重篤な虐待事案に関する調査検証研究を実施しています。

具体的には、過去の重篤事案の調査・分析および研究、県内の市町の要保護児童対策地域協議会の実態調査などを通じ、重篤な事案となった経緯を明らかにすることで、あるべき福祉保健との連携、学校との連携、地域との連携などについて、今年度末までに広島県に提言することを目的としています。

これを受けて広島県では、次年度より立案が検討されている「子ども・子育て支援新制度に係る計画」の中に、地域での虐待防止のための具体的施策として行かされる予定です。

この調査研究の結果は、今後広島県内の市町の虐待防止に関わる担当者への報告会や児童相談所のケースワーカーへの研修会において活用される予定です。具体的には保育士研修、保健師研修そして学校教員研修で積極的に情報提供する予定です。11月の虐待防止月間では、東広島市要保護児童対策地域協議会において報告を行います。

**【お問い合わせ先】**

広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設  
教授 七木田 敦  
研究補助職員 上山瑠津子  
TEL：082-424-6884, 4388